



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

平成23年7月21日(木)
国土交通省 関東地方整備局
鹿島港湾・空港整備事務所

記者発表資料

平成22年度優良工事の表彰について（事務所長表彰）

鹿島港湾・空港整備事務所は、平成22年度に完成した工事の中から、施工が優秀である等、模範となる工事について事務所長表彰を行いますので、お知らせ致します。実施日時及び場所等は下記のとおりとなります。また表彰工事及び表彰業者名は別紙のとおりです。

記

『ひたちなか会場』

1. 日 時： 平成23年7月21日（木）11時00分から
2. 場 所： ホテルニュー白亜紀
3. 表彰件数等： 優良工事 1件

『鹿島会場』

1. 日 時： 平成23年7月22日（金）14時00分から
2. 場 所： 鹿島セントラルホテル
3. 表彰件数等： 優良工事 1件

発表記者クラブ

茨城県政記者クラブ・竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所
副所長 阿部 二郎

【電話】 0299-84-7711

平成22年度優良工事の表彰について

1. 目的

平成22年度に鹿島港湾・空港整備事務所の工事を受注し、その施工が優秀であって他の模範とするに足りるものを表彰することにより、技術の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

2. 選定方法

優良工事の選定は鹿島港湾・空港整備事務所管内の工事から、関東地方整備局 港湾空港部の表彰審査委員会において審査を行いました。

3. 選定方針

(優良工事)

当該工事の成績が優良なもの、又はその功績が顕著なもの。

技術審査は工事の難易度、創意工夫、安全対策への取り組み等を重点に選定。

4. 表彰される件数(別紙参照)

5. 表彰式は、優良工事表彰受賞の社が出席し、事務所長から表彰状が授与されます。

6. その他

優良工事で表彰された場合は、総合評価方式等において企業の技術力評価が優位になります。

別紙

平成 2 2 年度優良工事表彰

事務所長表彰

優良工事

工事名	企業名	表彰式会場
H 2 1 茨城港常陸那珂港区東防波堤築造工事(その 2)	五洋建設(株) 東京土木支店	ひたちなか会場
H 2 1 鹿島港防波護岸上部他工事	常総開発工業(株)	鹿島会場

国土交通省関東地方整備局
鹿島港湾港湾・空港整備事務所

平成22年度優良工事事務所長表彰について

記者発表資料(参考資料)

平成22年度 優良工事事務所長表彰の概要
及び表彰理由

平成23年 7月21日

国土交通省関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所

優良工事 事務所長表彰の概要及び表彰理由

工事番号-1

ふりがな 業者名	ごようけんせつかぶしがいいしゃ とうきょうどぼくしてん 五洋建設株式会社 東京土木支店
ふりがな 工事名	いばらきこうひたちなかこうひがしぼうはていちくぞうこうじ(その2) 茨城港常陸那珂港区東防波堤築造工事(その2)
工 期	(自) 平成22年1月27日 (至) 平成23年3月30日
工事概要	本工事は、茨城港常陸那珂港区東防波堤の基礎工、本体工、被覆・根固工、上部工、防護工及び仮設工を施工したものである。
推薦理由 【工事】	<p>本工事は、既設の東防波堤の北側(4,860m)及び南側(420m)との間の開口部(120m)において、大型(約8,000トン)ケーソン4函の据付を主とした工事であり、東防波堤の開口部を繋ぎ、常陸那珂港の静穏度をより高める重要なものであった。</p> <p>施工場所は、①ケーソン設置水深20m程度の大水深における基礎捨石均し作業であること、②開口部を閉じる「はめこみ函」の据付を行うものであること、③開口部の幅が狭まり、潮汐や波浪による潮流の影響を特に受けること、④波浪による供用係数が2.9(3日に1日のみ作業可能)の海域であること、など非常に困難な作業条件であった。</p> <p>施工者は、このような厳しい作業条件下において、①大水深での機械均しを実施、②ケーソン据付時の港外側曳船の馬力をアップ、③潮流調査により最適な据付時間帯を検討、④海象予測などにより作業実施日を決定、などの確な施工管理と工程管理を実施し、工期内に竣工させ優秀な成績を収めた。</p>

工事番号-2

ふりがな 業者名	じょうそうかいはずこうぎょうかぶしがいいしゃ 常総開発工業株式会社
ふりがな 工事名	かしまこうぼうはごがんじょうぶほかこうじ 鹿島港防波護岸上部他工事
工 期	(自) 平成21年9月8日 (至) 平成22年5月14日
工事概要	本工事は、鹿島港防波護岸の上部工(上部コンクリートL=272.4m)、裏込・裏埋工(目地材取付N=15箇所、裏込捨石L=267.2m、防砂シートL=267.2m、港湾築堤マットN=78個)等を施工するものである。
推薦理由 【工事】	<p>当該工事の施工場所は鹿島港の外洋に面しており、低気圧や台風等の悪天候の影響をもろに受ける場所である。このため、施工に当たっては、気象・海象予測情報を収集して効率性の良い工程計画を作成することが望まれている。本工事では、気象・海象予測情報を活用し工程計画を立てたのは当然とし、工程遅延が生じた場合には、作業員の増員、重機・型枠を増やすなどして工程回復に努めることにより、工期内に工事を完成させることができた。</p> <p>また当該区域は他工事と輻輳している場所であり、工事車両の通行路は1経路しかなく、かつ、施工場所は他工事の作業用通路となることから、使用重機の検討を行い、作業半径を大きくして作業用通路を確保する目的でクローラークレーンを使用し、施工エリアが限られている中で重機配置やコンクリート打設計画などを工夫して施工を行った。</p> <p>さらに、安全管理では、高さが7.5mの上部工工事であるため、突風による転落や墜落災害には特に注意を図り、無事故で完成させた。</p>